

令和5年度開設

「深い学び」により高い進路目標を実現し、
ふるさと長崎や世界の未来を拓くリーダーを育てます！

文理探究科

ふみだせ！正解のない世界へ

～新しい大学進学アプローチ「普通科+」～



長崎北陽台高等学校



佐世保南高等学校

文理探究科

島原高等学校

大村高等学校

猶興館高等学校



(大学での研修)



(海外高校での交流)

令和5年度から、県立高校5校に「文理探究科」を設置します！
これは、理系・文系の枠を越えて、教科横断的な探究型学習に協働的に取り組むことで、
高い進路目標の実現を目指す学科です！



長崎県教育委員会

文理探究科のねらい



AIなどの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日においては、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決に結びつけていく能力が求められています。また、高大接続改革により、大学入試における総合型選抜や学校推薦型選抜の割合が大きくなるなど、高校時代に「何を学んだか」だけでなく、「どのように学んだか」も重視する選抜方法への移行が推進されています。

ふるさと長崎や世界の未来を拓くリーダーの育成

予測不能で変化の激しい社会に対して、自ら新しい知識を求めて学び、困難に果敢に挑戦する姿勢・態度、他者と協力して解決する力、科学的思考力や国際性を身に付けた人材を育てます。

高い進路目標の実現（大学進学重点学科）

しっかりとした教科学習に加え、自ら課題を発見し解決に取り組む探究型学習を充実させる事により、理系・文系を問わず、多彩な学問分野を学ぶ大学への進学や修学に必要な学力を育みます。

文理探究科の特色



探究型学習の充実

実社会での問題発見・解決に生かしていくため、高等教育機関（大学など）、国際機関、国の機関、企業、NPO法人等と連携・協働し、教科横断的な探究型学習を充実させます。

探究型学習を支える発展的な教科学力の養成

学習内容をさらに掘り下げ、より発展的な専門教科「理数」「英語」の科目や、学校が独自に設定する科目などにより、より発展的な教科学力を養成します。



文理探究科独自の特色ある教育プログラムの実施

幅広い教養や豊かな人間性を持ち、知的総合力を備えたグローバル・リーダーを育成するため、体験的な学びや発表機会など、独自の特色ある教育プログラムを実施します。

長崎北陽台高校・佐世保南高校・島原高校・大村高校



猶興館高校



探究型学習の取組

探究型学習とは、生徒自らが設定した課題の解決を目指し、知識・技能をベースに、思考力・判断力・表現力を総合的に活用しながら、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行うなど、主体的・協働的に取り組む学習です。



(手法例) 課題研究・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッション・ジグソー法・ワールドカフェ など



(課題研究のグループワーク)



(課題研究のポスターセッション)

特色ある教育プログラム

- 課題研究発表
- 大学・企業研修
- 各種コンテスト参加
- 合同研究発表会の実施
- ICTを活用した県外・海外の高校、大学、研究機関等との交流
- 海外研修 など



(大学での施設見学)



(大学での研修)



(合同研究発表大会)



(海外高校への訪問)



(海外での研修)

入学者選抜について

「文理探究科」募集定員（前期選抜・後期選抜合計）

長崎北陽台高校・佐世保南高校・島原高校・大村高校は各80名、
猶興館高校は40名の予定です。

通学区域（学区）

「文理探究科」の通学区域は、県全域となります。
（「普通科」には通学区域がそれぞれ定められています）



前期選抜・後期選抜の定員、選抜方法および実施内容など

『令和5年度長崎県公立高等学校入学者選抜実施要領』で各学校の実施内容などを確認してください。（各学校のWebページにも各学校の実施要領を掲載します）

後期選抜における併願

「文理探究科」を第1志望とした場合、志願する学校の「普通科」を第2志望として併願できます。ただし、「普通科」を第1志望とした場合、「文理探究科」を第2志望とすることはできません。（大村高校「家政科」の併願については、学校の実施要領を確認してください）

Q & A



Q 「文理探究科」では「探究型学習」を充実させるとのことですが、一般教科に加えて多くの時間が割かれることで、大学入試に不利になるのではないですか？

A 今日大学入学共通テストや大学個別試験においては、知識や理解の質を問う問題や、思考力・判断力・表現力等を発揮して解くことが求められる問題が出題されるようになりました。また、総合型選抜や学校推薦型選抜において、高校時代に取り組んだ課題研究の内容や実績、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する大学が増えています。文理探究科においては、発展的な専門教科や学校設定科目により、教科学力の定着をしっかりと図るとともに、教科横断的な「探究型学習」により、主体的・協働的に学ぶ姿勢や思考力・判断力・表現力を養成しますので、これからの多様な大学入試により幅広く対応することが可能です。

Q 「文理探究科」の募集定員が「普通科」よりも少ないので、第1志望とするのが不安なのですが？

A 後期選抜においては、志願する学校の「普通科」と併願することが可能ですので、高い志を持って「文理探究科」を積極的に第1志望としてください。「文理探究科」と「普通科」の選抜は別々に行いますが、「文理探究科」を不合格になった場合でも、「普通科」を第1志望としている受検生と、第2志望としている受検生を同等に選抜します。

Q 「文理探究科」では、入学時に理数探究か国際探究（理数科学探究か人文科学探究）を選ぶ必要がありますか？

A 1年次は全員共通の教育課程で学びますので、入学時に選択する必要はありません。2年次から進路希望に応じて、理数および国際に関する専門科目を学ぶ「理数探究」か「国際探究」（「理数科学探究」か「人文科学探究」）のいずれかを選択して学ぶことになります。1年次からのキャリア教育により各自の将来のキャリアプランを構築し、理系・文系の枠を越えた教科横断的な探究型学習を充実させるとともに、選択科目による少人数授業などにより、各自の多様な進路希望に対応したきめ細やかな学習活動を行います。